

「最近の若者わからん」で済ませない

ミレニアル世代の離職を防止し、自立型人材に育てる

人財育成アカデミー

会場 茨城県職業人材育成センター（水戸市水府町864-4）※無料の大駐車場あり。

料金 ※税込額 1日程のみ参加…8,640円/1名 3日程すべて参加…21,600円/1名 3回まとめてだと4,320円お得!

申し込み方法 以下のいずれかの方法でお申込みください。

F A X 029-300-1739

下記の申込み用紙に必要事項を記入しファックスをお送りください。

メール academy@koyou-jinzai.org

申込み用紙と同様の内容をメールにてお送りください。

フォーム 雇用人材協会HPから
申込みフォームにアクセスし、
必要事項を入力ください。



問合せ 029-300-1738 (平日9時～18時)
academy@koyou-jinzai.org

申込みの受理をしましたら確認のご連絡をいたします。その後、請求書および受講証をお送りいたします。

注意事項 ※ 申込みが定員に達しない等の理由により、中止又は延期する場合があります。※ 昼食は各自ご用意願います。

参加申込書

※申込欄が足りない時は複製してご使用ください。

企業名			住所		
申込担当者	フリガナ			部署名	
	氏名				
	TEL	()	-	FAX	() -
	メール				
研修参加者	フリガナ	部署名	年齢	参加する研修を○で囲んでください	
	氏名			第1回・第2回・第3回	
2名参加可	フリガナ	部署名	年齢	参加する研修を○で囲んでください	
	氏名			第1回・第2回・第3回	

企画・運営



いばらき就職・生活総合支援センター 1F
NPO法人雇用人材協会(水戸市三の丸1-7-41)

研修講座の日程・詳細は中面にて

お問い合わせ 電話もしくはメールにて [受付時間] 平日/9:00～18:00

Tel: 029-300-1738 Fax: 029-300-1739

Mail: academy@koyou-jinzai.org

メールの受信設定をされている方は、上記アドレスからのメールが届くよう、受信設定の変更をお願い致します。

「最近の若者わからん」で済ませない

ミレニアル世代の離職を防止し、
自立型人材に育てる

人財育成アカデミー

特徴1

現状維持思考

仕事へのコミットメントや
上昇志向が低下

特徴2

利己主義

仕事(会社や上司)より
自分を優先したい

特徴3

平和主義

摩擦や責任、挑戦や
リスクを避け安定を好む



自立型人材

新入社員や
中途採用者への
研修機会に!

対象

入社1～3年目程度の
若手社員

中途採用で
社歴の浅い方も

社内教育で
補えない時に

来年の新入社員が
入社する前に

各回40名定員

ミレニアル世代とは?

1980年代以降に生まれ、2000年以降に成人した世代を差す。インターネットが当たり前になりスマホと接して育ち(デジタルネイティブ)、消費行動や人とのつながりなど、様々な価値観が従来の世代とは異なる世代のことをこう呼んでいる。
※価値観の多様化が進み、同じ世代でも異なる考え方や行動特性を持つグループが混在しているため、世代論が通用しにくい世代であることを認識した上で関わりを持つ必要がある。

人財育成アカデミーはここが違う! アセスメントを使用し客観的に評価します。

個人の特性・特徴を踏まえた仕事の取組み方を考えていく上で、本人の自覚・周囲の評価だけでなく、客観的な評価を用いることで、成果を高めることができます。そこで、客観的に判断するためのアセスメントを各回で実施します(アセスメント費用は参加料金に含む)。また、希望企業には、アセスメントを踏まえた個別フィードバックを行います。

料金 ※税込額 1日程のみ参加…8,640円/1名 3日程すべて参加…21,600円/1名 3回まとめてだと4,320円お得!

自立型人材育成研修プログラム

○研修は、座学だけでなく、演習・ディスカッションなど体験を通して主体的に学び、学習の定着率を高めていきます。
○3回通して学ぶことでより効果が高まりますが、1回で完結するようプログラム設計していますので、各回ごとの参加もできます。
※プログラム内容は予告なく変更する場合があります。

第1回 11/12 (月) テーマ 仕事にコミットする動機づけの方法。思考を変容させ自立型人材を目指す

9:30~16:30

自立型人材を目指す上で、成果を出す人材が共通して持っている能力は、主体性・仕事に向かう姿勢（スタンス）です。仕事の目的を理解し、当事者意識を持って課題の発見と解決に自主的に取り組むことや、困難に向き合い仕事をやり切る信念が、主体性を育んでいきます。そういった姿勢を育むためには、自ら仕事への意欲を沸き立たせ、動機づけをしていくメンタリティ（内面・精神・心）の育成が重要です。研修では、仕事に向き合う姿勢に大きく影響を及ぼす物事の捉え方や感情のコントロール法、動機づけのしくみを学び、主体的に行動する人材を目指します。

学ぶ内容

- 仕事の目的、作業と仕事の違いを考える
- モチベーションとは何か？
内発的・外発的動機づけを上手に使う
- 現状維持メカニズムから抜け出す
行動力の付け方
- ネガティブな感情を取り除く方法
- 心配事が出来た時の対処法
- 結果を出す為の10心理学則

学習効果

- 主体的に行動する姿勢が身につく
- 仕事の意味や目的を理解して取り組み、
自ら仕事への動機づけができるようになる
- 心のブレーキのメカニズムを理解できる
- 成長スパイラルへ転換し
結果を出しやすくなる
- 内面（感情・精神）のコントロールができ、
仕事のムラがなくなり成果が出やすくなる
- ストレス共生力が高まる

アセスメント

EQ（心の知能指数）
私たちの行動に大きな影響を与えている情動（感情）を、うまく管理し利用したりする知能のことを表しており、「心の知能指数」とも言われています。研修では、基本・職務の2つの必須要件と10個の特性から分析し、自分の役割遂行に最適な行動をとれるよう役立てて行きます。

講師

伊藤 康夫 氏

米国CCE認定GPDF-Japan
キャリアカウンセラー

16年間勤務していた大手総合人材サービス会社と様々な団体を通じ、のべ8,000名の職業相談にのる。職業支援、人生相談を実施。「Life（人生）」と「Work（仕事）」を「Happiness」に、をテーマにかけ、セミナー活動、カウンセリング活動を中心に支援を展開中。



第2回 12/13 (木) テーマ 信頼関係を築き仕事で成果を出すビジネススキルとしてのコミュニケーション術

9:30~16:30

早期離職の要因の8割は人間関係、つまり、社内のコミュニケーションが影響しています。反対に、円滑にコミュニケーションがとれ、良好な人間関係が構築できれば、離職を予防することができます。そのためには、コミュニケーションは、上司・同僚だけでなくお客様や取引先などとの信頼関係構築や、仕事の質を高めるという目的を達成するためのビジネススキルであることの理解が重要です。研修では、信頼関係づくりのためのコミュニケーションスキルや、傾聴・伝え方スキル、相手との相互理解の仕方を身に付けることで、コミュニケーション不足によるあいまいさや思い込みを回避し、仕事の生産性を高めることを目指していきます。

学ぶ内容

- コミュニケーションの目的と機能を理解する
- 言語と非言語を意識する重要性
- 曖昧さや思い込みをなくす傾聴スキル
- 仕事の質を高める報告、連絡、相談
- わかりやすく正確に相手に伝えるPREP法

学習効果

- 仕事の成果を意識した
コミュニケーションを自らとれる
- 効果的な「聴き方」、「伝え方」を身に
付けることで、社内のコミュニケーションが
スムーズになる
- 仕事における「報告・連絡・相談」の
重要性を理解し自主的に行うことができる

アセスメント

DiSC理論（行動特性理論）
動機欲求に基づき、人の行動を4つのタイプ（主導・感化・安定・慎重）に区分したものです。自分の行動特性はどのタイプが強いかわ、他者の行動特性の理解を深め、仕事に必要な行動を意識することで、対人関係を良好にし、仕事の生産性の向上につながります。

講師

田寺 尚子 氏

株式会社
ヒューマン・フレンジー

経営士・キャリアコンサルタント・PHP認定コーチ「組織力・人間力を高め、プロとしてのスキルを生かすため、それを下支える基本スキル」を大事にしている。新入社員研修、自己分析研修、メンタルヘルスマネジメント研修、部下育成タイプ別コーチング、ロールプレイング研修など、「心の伝わる研修」を心がけている。



第3回 1/21 (月) テーマ 自己成長と仕事で成果を出すPDCAサイクル

9:30~16:30

業務経験が少ない若手社員が、仕事をする上で意識することは、仕事の目的・目標・手段を明確にすることや、PDCAサイクルを意識して、成果を出せるようになることです。研修では、上司からの指示を定量的・定性的に確認・解釈し、求められる期間や水準で遂行していくための、目標設定と実行プロセスを身に付けて行きます。そのための思考プロセスを学ぶことで、目的と現状のギャップ理解や、物事を多面的に捉える複眼、解決のためのアイデアの出し方などを実行できる力にしていきます。また、ケーススタディや実際に本人が抱える課題をもとに演習を行い、より現場で活用可能なスキル修得を目指します。

学ぶ内容

- 仕事の目的の理解と正しい目標設定
- PDCAサイクルの本質と基本的な流れ
- 課題解決の方法を様々な視点で考える
- アイデアを出すコツ。
拡散思考と収束思考
- ケーススタディと課題解決演習

学習効果

- 成果を出すための正しい目標設定と
行動計画を立てることができる
- 課題解決のプロセスを理解できる
- 多様な視点から
物事を捉えることができる
- アイデアの出し方を知り、
実践することができる

アセスメント

仕事の進め方をより良くするためのセルフチェックを行います。明確な目的、定量的・定性的な目標に基づいて、的確な手段を選択し、成果につながっているか、実行度合いを確かめて行きます。

講師

伊藤 史紀 氏

株式会社Co-Lab（コーラボ）
代表取締役

ベンチャー企業で、生産管理、営業、人事など、多様な職種でマネージャーを経験。新規立ち上げ案件、立て直し案件に多く携わる中で、企業・事業の「永続性」に注目し独自に研究を始める。2010年に独立し、時代の変化に適応しながら永続していく組織・企業づくりを支援している。専門分野は組織開発やリーダーシップ論、人事評価制度の構築・運用など。



研修後フォローアップ

無料

希望企業に特別フィードバック!

研修で学んだことを、業務で効果的に活用できる状態をつくり、研修効果を高めるために、希望する企業には研修内容のフィードバックを行います。研修中の様子や、研修内で実施したアセスメントや振り返りなどを、本人だけでなく、人事や上司などと共有していきます。